



2013年度第3四半期 研究開発アップデート

CMSOオフィス長
三好 集

2014年2月5日

武田薬品工業株式会社

直近のステージアップ(2013年10月31日以降)



			Ph-1	Ph-2	Ph-3	申請	承認
アドセトリス® (プレソキシマブベドチン)	再発・難治性のホジキンリンパ腫 再発・難治性の未分化大細胞リンパ腫	日本				→	→
CONTRACE® (naltrexone SR / bupropion SR)	肥満症	米国			→	→	
ホメピゾール	エチレングリコールおよびメタノール中毒	日本			→	→	
MLN9708 (ixazomib)	再発・難治性の多発性骨髄腫	日本		→	→		
MLN0002 (vedolizumab)	潰瘍性大腸炎 クローン病	日本		→	→		
AMITIZA® (lubiprostone)	小児機能性便秘症	米国		→	→		
TAK-659	固形癌 血液癌	-	→				

MLN9708 (ixazomib citrate)

ASH 2013において発表されたデータ

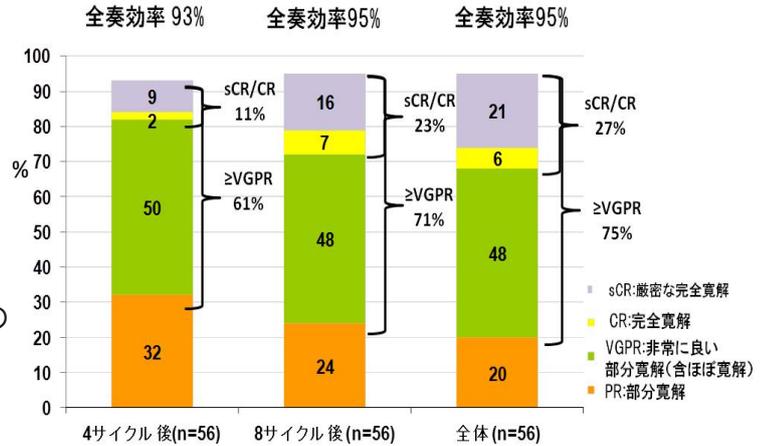


プログラム概要

- グローバルPh-3試験を実施中の初の経口プロテアソーム阻害剤
- 多発性骨髄腫に対して、プロテアソーム阻害薬および免疫調節薬を含めたすべて経口剤よる初の3剤併用レジメンで開発中
- 週1回経口投与製剤
- 未治療および再発・難治性の多発性骨髄腫、また再発・難治性のALアミロイドーシスを対象とした臨床試験を実施中
- 単剤で有効性が認められており、末梢神経障害の発現頻度が低く、経口剤であることから長期治療(メンテナンス治療)において望ましいプロファイルを有する
- 血液癌や固形癌への幅広い適応可能性
- タケダはグローバルでの販売権利を所有
- 承認見込み時期:2015年度(日/米/欧)

未治療の多発性骨髄腫の患者を対象としたPh-1最終結果およびPh-2データ

中間集計データでは、治療が進むほど奏効率が
高くなることが示唆される
(Ph-2試験推奨量用量で治療を受けた患者)



- 未治療の多発性骨髄腫の患者にレナリドミドおよびデキサメタゾンと併用し週に2回投与
- 全てのグレードにおいて20%以上の頻度で認められた有害事象は、発疹、末梢神経障害、疲労、末梢浮腫、味覚障害、下痢、不眠症、便秘、吐き気、めまい

ADCETRIS (brentuximab vedotin)

ASH 2013において発表されたデータ

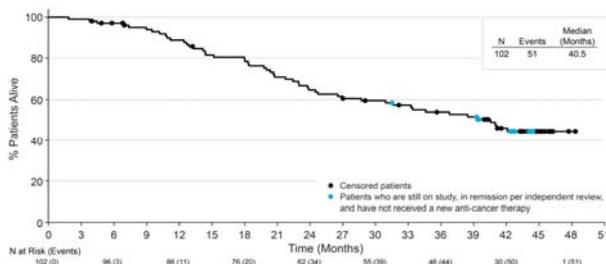


プログラム概要

- CD30抗原を標的とした抗体薬物複合体(ADC)
- 市場への浸透は順調
 - 欧州、新興国、北アジアを含む世界35カ国以上で承認取得
 - 2014年1月、日本で承認取得
- 堅固な臨床試験プログラム
 - 効能拡大のための幅広いライフサイクルマネジメント

再発・難治性のホジキンリンパ腫の患者を対象とした3年間の追跡調査データ

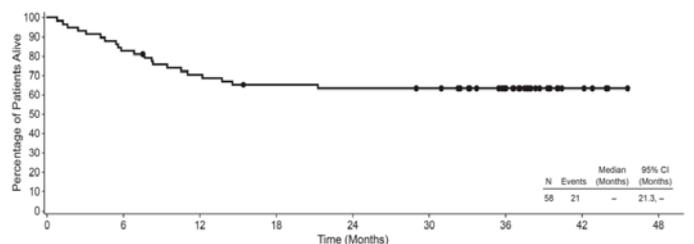
全生存期間



- Brentuximab vedotin を最初に投与してから3年経過時点での中間観察では、50%の再発・難治性のホジキンリンパ腫の患者が生存
- 全生存期間の中央値は40.5ヶ月(95%信頼区間:28.7、1.8-48.3)

再発・難治性の全身性未分化大細胞リンパ腫の患者を対象とした3年間の生存期間データ

全生存期間



- 58名のうち37名の患者(64%)が最終フォローアップ時点で生存
- 3年経過時点の推定全生存率は63% (95%信頼区間: 51%、76%)
- 8名の患者はbrentuximab vedotinで再治療を受け、4名は16サイクル以上治療を延長して受けた



契約概要

- グローバルでの独占的開発権等とともに、Natrogen社買収のオプション権を取得する契約を締結
- Natrogen社に契約一時金を払うとともに、将来、Natrogen社買収オプション権を行使の上、追加的な支払いを行う可能性
- 今後必要となるすべての臨床試験を当社が費用負担の上で実施

プログラム概要

- 炎症を助長し、疾患を悪化させる炎症性サイトカインの発現を抑制する低分子化合物
- 炎症性反応や、炎症によって引き起こされる組織破壊を抑制するサイトカインであるインターロイキン-10の産生を促進することにより、炎症性サイトカインを抑制
- 現在、潰瘍性大腸炎治療薬としてPh-2試験を実施中
- Vedolizumabを含む当社の消化器疾患におけるポートフォリオ戦略に合致



地域別パイプライン承認年度見通し



	FY13	FY14	FY15	FY16 - FY17
日	azilsartan (TAK-536) CCB ¹	trelagliptin (SYR-472)	ixazomib (MLN9708)	relugolix (TAK-385)
	lansoprazole (AG-1749) LDA ²	vonoprazan (TAK-438)	orteronel (TAK-700)	motesanib
	cetlistat (ATL-962)	vortioxetine (Lu AA21004)	leuprorelin 6M (TAP-144-SR)	
	brentuximab vedotin (SGN-35)	Hib vaccine (TAK-816)		
	influenza vaccine (BLB-750)	fomepizole		
米	vortioxetine (Lu AA21004)	vedolizumab (MLN0002)	ixazomib (MLN9708)	ramelteon (TAK-375) SL
		orteronel (TAK-700)	alisertib (MLN8237)	
		Contrave		
欧	alogliptin (SYR-322)	vedolizumab (MLN0002)	ixazomib (MLN9708)	alisertib (MLN8237)
	alogliptin MET ³		orteronel (TAK-700)	Norovirus vaccine
	alogliptin PIO ⁴			
	dexlansoprazole (TAK-390MR)			
	lurasidone			

新興国および北アジアにおいては以下のパイプラインについて、順次上市を予定
alogliptin、azilsartan medoxomil、brentuximab vedotin、MEPACT、ramelteon、dexlansoprazole、DAXAS

既に承認された品目は赤字で掲載

¹カルシウム拮抗剤、²低用量アスピリン、³外ホルミン、⁴ピオグリタゾン(アクス)

Amgen社の品目も含めて、導入品のいくつかは、各会社の開示ポリシーにより非開示

タイムラインは現在検討中

自社品 導入品



2013年度 第3四半期 連結業績の概要

チーフ フィナンシャル オフィサー
フランソワ ロジェ

2014年 2月 5日

武田薬品工業株式会社

目次



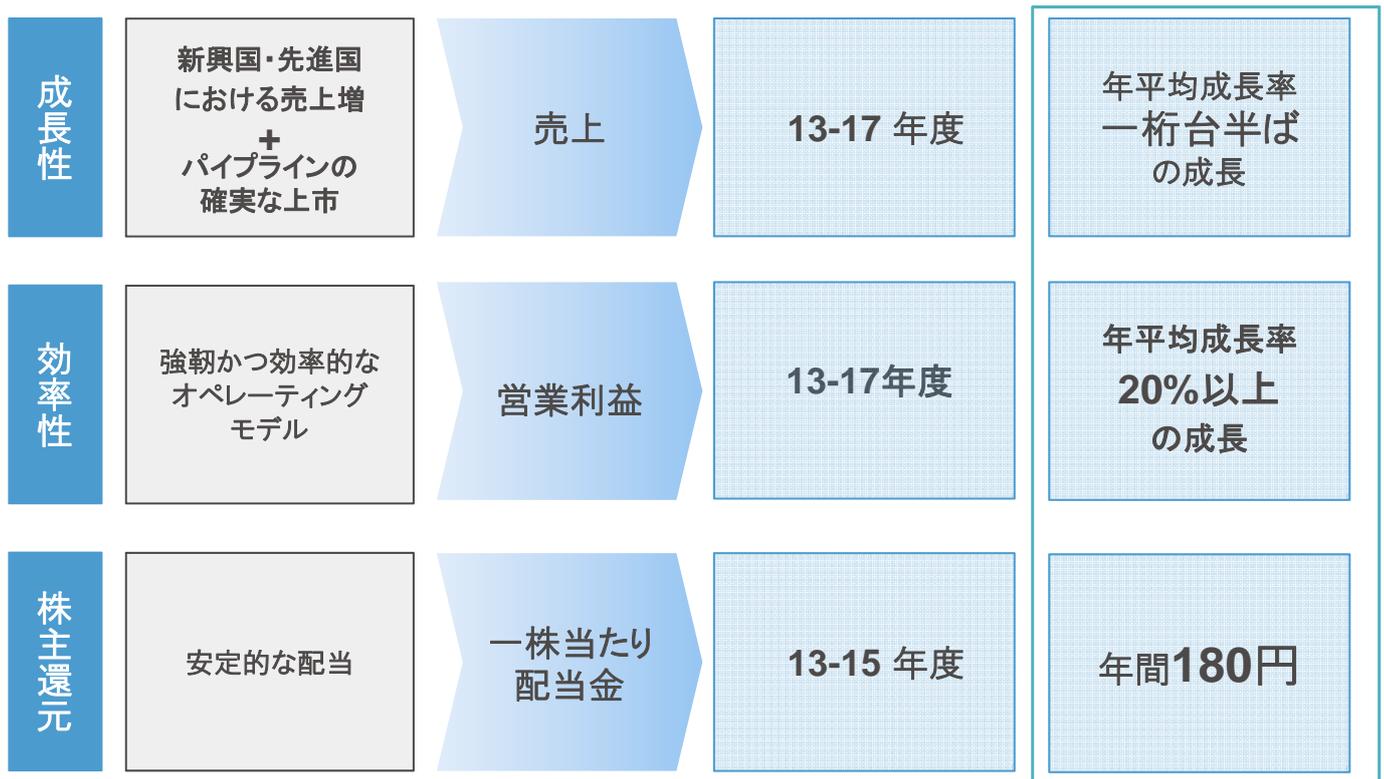
- Key Highlights
- 売上高 [2013年度 第3四半期(10-12月)]
- 損益計算書 [2013年度 第3四半期(10-12月)]
- 貸借対照表 および キャッシュフロー
- 2013年度 通期見通し
- Appendix
 - 業績の概要 [2013年度 第3四半期累計(4-12月)]
 - IFRS
 - 補足情報



- 第3四半期(10-12月)の前年同期比売上高伸長率は+5.0%(like-for like ベース*)となり、中期成長戦略通りのトレンド
- 順調な新製品の立ち上げ(欧州のアドセトリス、日本・米国のネシーナ) 第4四半期より米国においてBrintellixを発売
- TAK-875の開発中止は中期成長戦略には大きな影響なし FDAのアドバイザリーコミッティにおいて、MLN0002の潰瘍性大腸炎およびクローン病両方についてのポジティブな推奨
- Project Summitの着実な開始により、2013年度における費用削減の達成、コスト削減効果の持続
- 健全なバランスシートと、低い純有利子負債水準を維持
- 通期見通しの売上高と営業利益を引き上げ

* Like-for-like: 詳細はP.40参照

持続的成長目標



(注)TAK-875の開発中止の影響は本プレゼンテーションにおけるすべてのガイダンスに織り込んでいます。

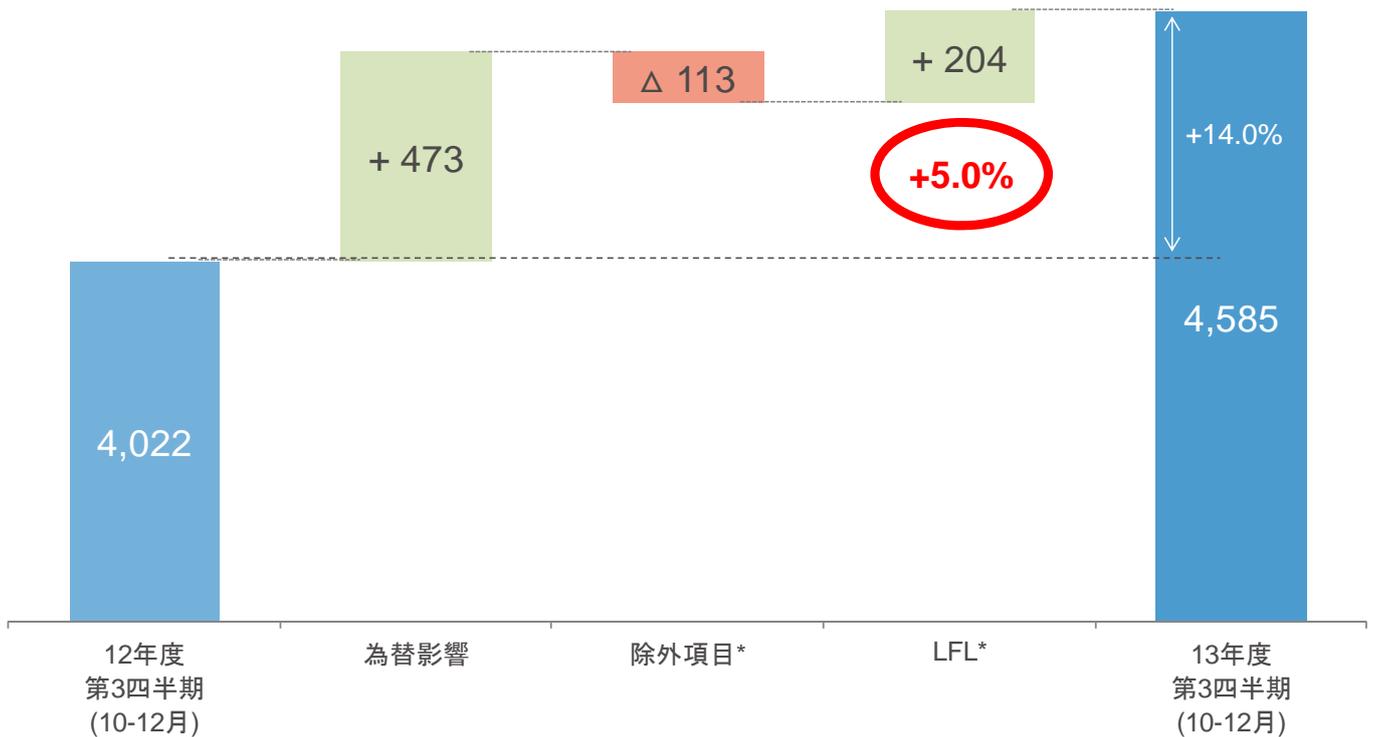


売上高 [2013年度 第3四半期(10-12月)]

為替影響とLFLベースの伸長により、連結売上高は 対前年同期比+14.0%



(億円)



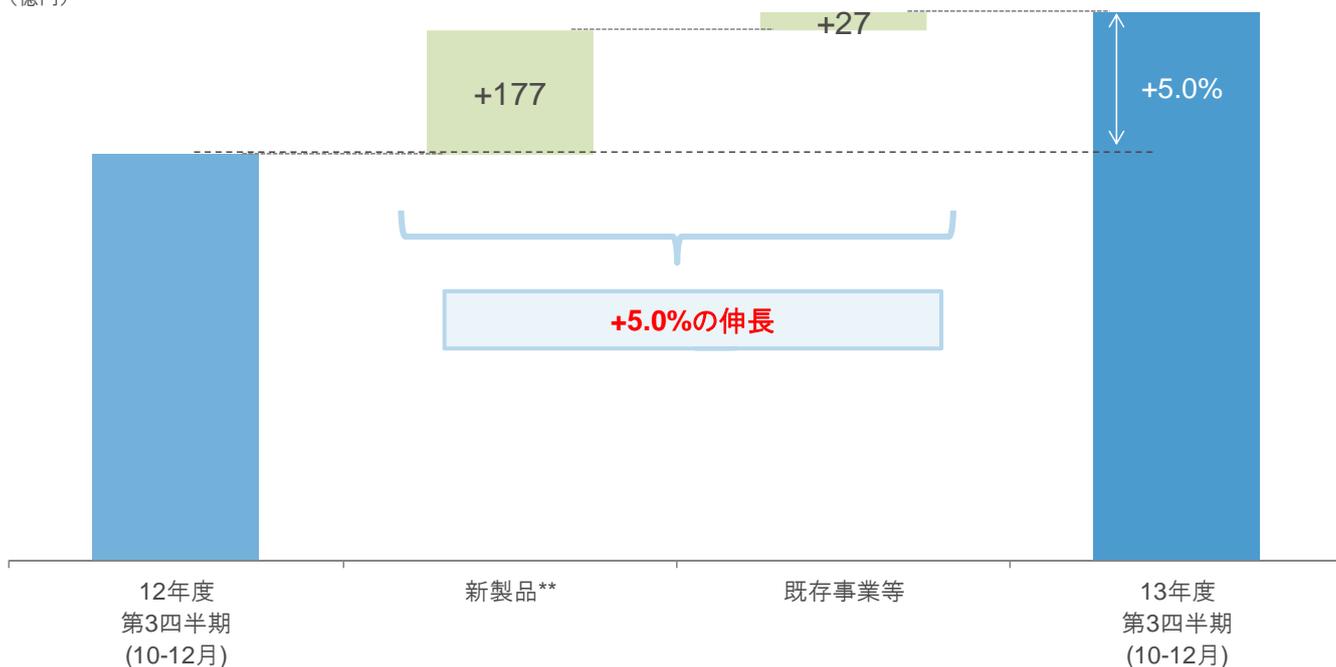
* 除外項目およびLFL(Like for Like)の詳細はP.40参照

LFLベースの売上高は新製品の伸長により+5.0%と堅調



Like-for-like*

(億円)



* Like-for-like: 詳細はP.40参照

** 新製品とは、発売後5年以内の製品、すなわち09年以降に発売した製品(既存品との合剤・剤型変更を除き、買収した会社の製品を含む)を指します。

売上高TOP10品目 - 堅調な既存品と新製品の伸長

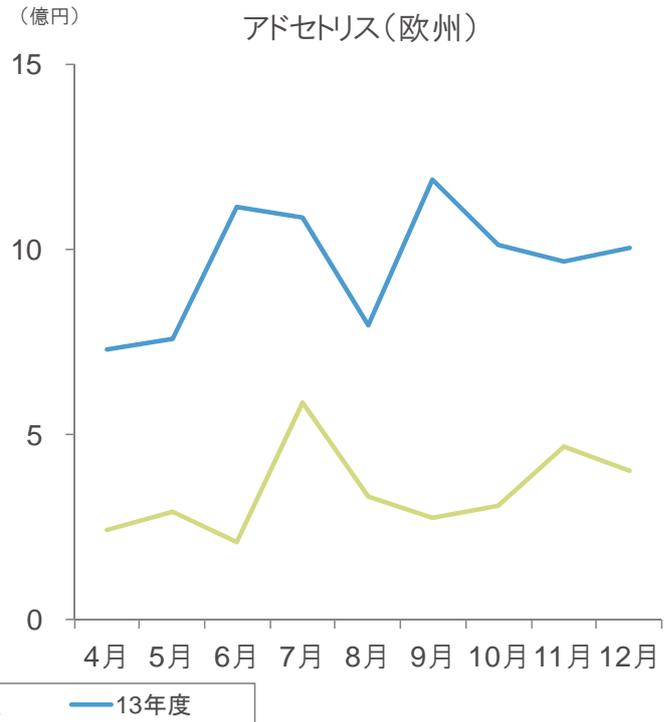
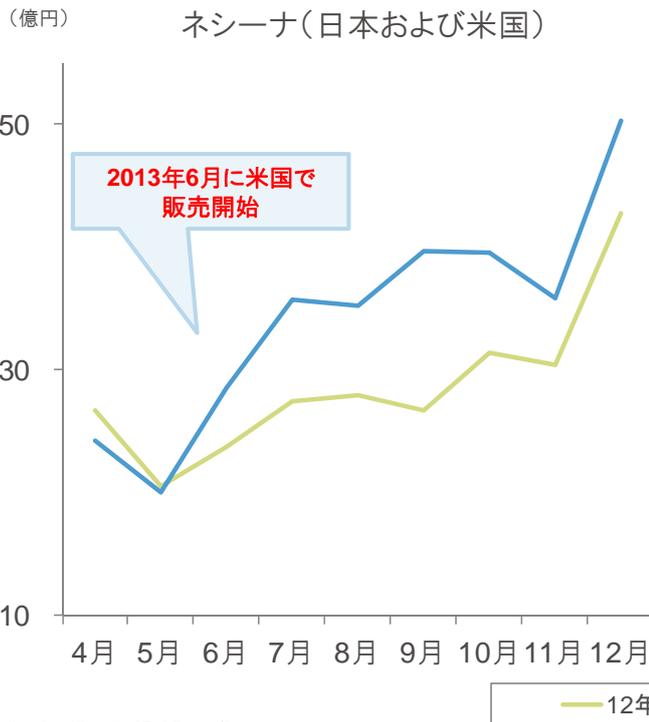


億円	第3四半期 (10-12月)			LFL*
	12年度	13年度	増減	
カンデサルタン	437	406	Δ 7.0%	Δ 5.8%
リュープロレリン	303	318	+ 4.8%	Δ 1.5%
ランソプラゾール	298	302	+ 1.4%	Δ 5.6%
パントプラゾール	197	293	+ 48.6%	+ 21.6%
ベルケイド	182	241	+ 32.3%	+ 6.8%
ネシーナ	105	126	+ 20.9%	+ 21.1%
デクスラント	84	126	+ 50.8%	+ 21.2%
コルクリス	105	124	+ 18.0%	Δ 4.8%
エンブレル	115	119	+ 3.6%	+ 4.5%
アクトス	172	95	Δ 44.7%	Δ 11.1%
その他	2,025	2,435	+ 20.2%	+ 7.2%
売上高合計	4,022	4,585	+ 14.0%	+ 5.0%

* LFL (Like-for-like): 詳細はP.40参照



Like-for-like*



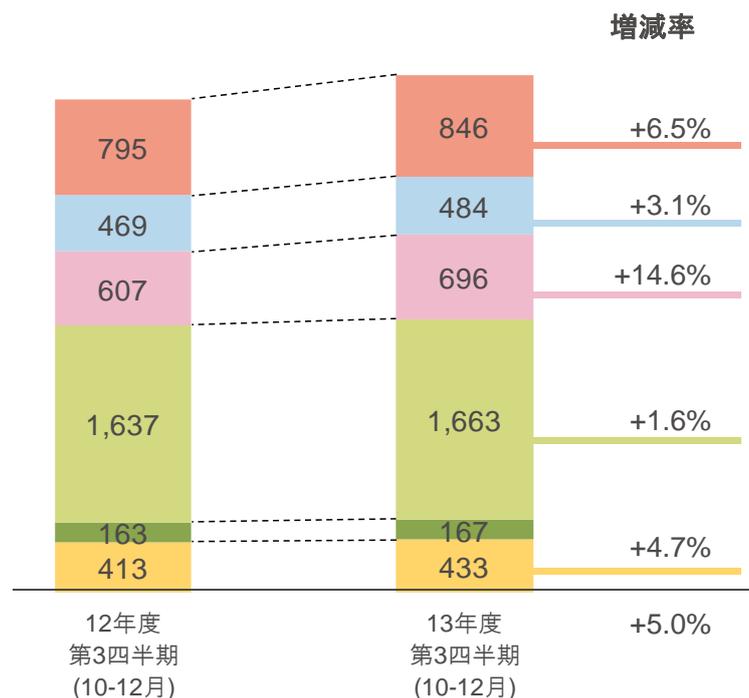
* Like-for-like: 詳細はP.40参照

地域別売上高 - 全ての地域で順調な推移



Like-for-like*

(億円)

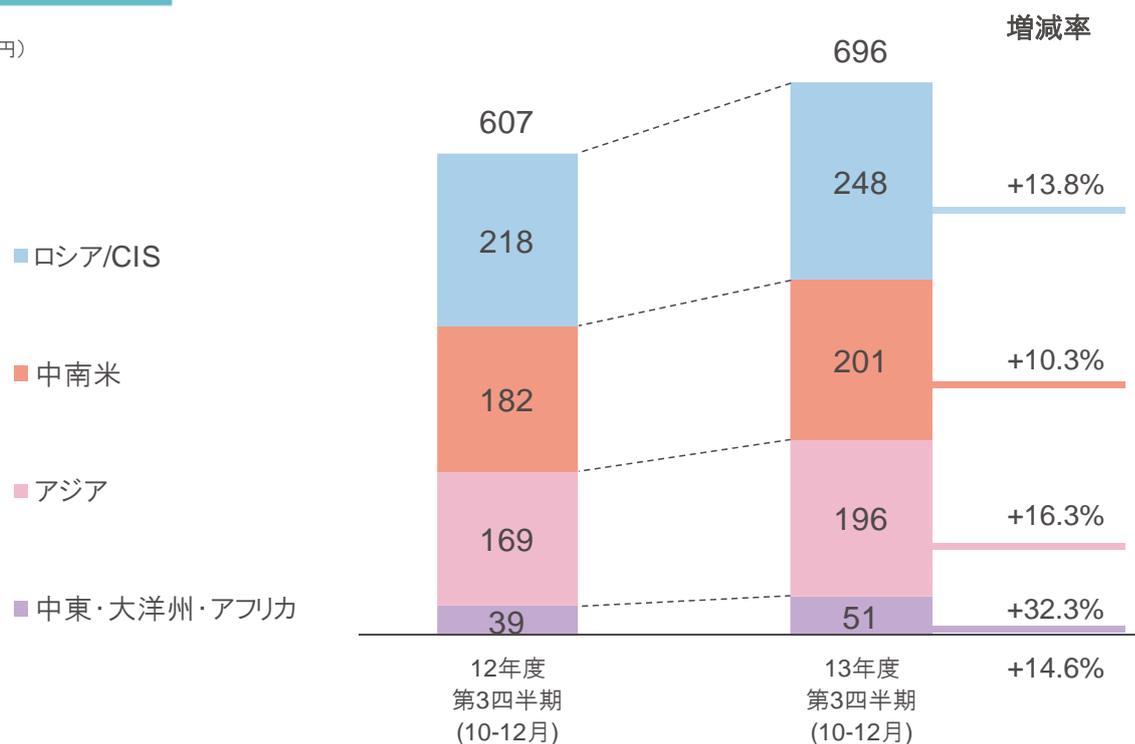


* Like-for-like: 詳細はP.40参照



Like-for-like*

(億円)



* Like-for-like: 詳細はP.40参照



損益計算書 [2013年度 第3四半期(10-12月)]

LFLでの営業利益率+7.7%の改善



億円	日本基準		増減	LFL*
	第3四半期 (10-12月)			
	12年度	13年度		
売上高	4,022	4,585	+ 14.0%	+ 5.0%
売上総利益	2,817	3,305	+ 17.3%	+ 6.5%
売上高比率	70.0%	72.1%	+2.0 pts	+1.0 pts
一般管理販売費	1,627	1,781	+ 9.5%	△ 8.4%
売上高比率	40.5%	38.8%	△1.6 pts	△4.4 pts
研究開発費	769	830	+ 8.0%	△ 7.6%
売上高比率	19.1%	18.1%	△1.0 pts	△2.3 pts
営業利益	421	694	+ 64.8%	+ 54.0%
売上高比率	10.5%	15.1%	+4.7 pts	+7.7 pts

- 売上総利益率の1ポイント改善(LFL)
- コスト削減の取組効果
- R&D費用(LFL)の発生タイミングの遅れにより利益増加（第4四半期の発生額が増加する見込）

* LFL (Like-for-like): 詳細はP.40参照

EPSの上昇



億円	日本基準		増減	LFL*
	第3四半期 (10-12月)			
	12年度	13年度		
営業利益	421	694	+ 64.8%	+ 54.0%
売上高比率	10.5%	15.1%	+4.7 pts	+7.7 pts
経常利益	382	602	+ 57.6%	+ 49.5%
特別損益	△ 26	118	-	-
純利益	191	463	+ 142.1%	+ 30.8%
EBITDA(特別損益除き)	903	1,203	+ 33.3%	+ 39.6%
売上高比率	22.4%	26.2%	+3.8 pts	+6.7 pts
EPS	24円	59円	+ 34円	+ 21円

* LFL (Like-for-like): 詳細はP.40参照



Like-for-like*

	12年度対13年度	
	第3四半期 (10-12月)	第3四半期累計 (4-12月)
一般管理販売費	△ 8.4%	△ 5.3%
研究開発費	△ 7.6%	△ 10.3%
合計	△ 8.2%	△ 7.1%

- 特に研究開発費について、発生タイミングの遅れによる費用減少が寄与しているが、第4四半期においては費用増加を見込んでいる

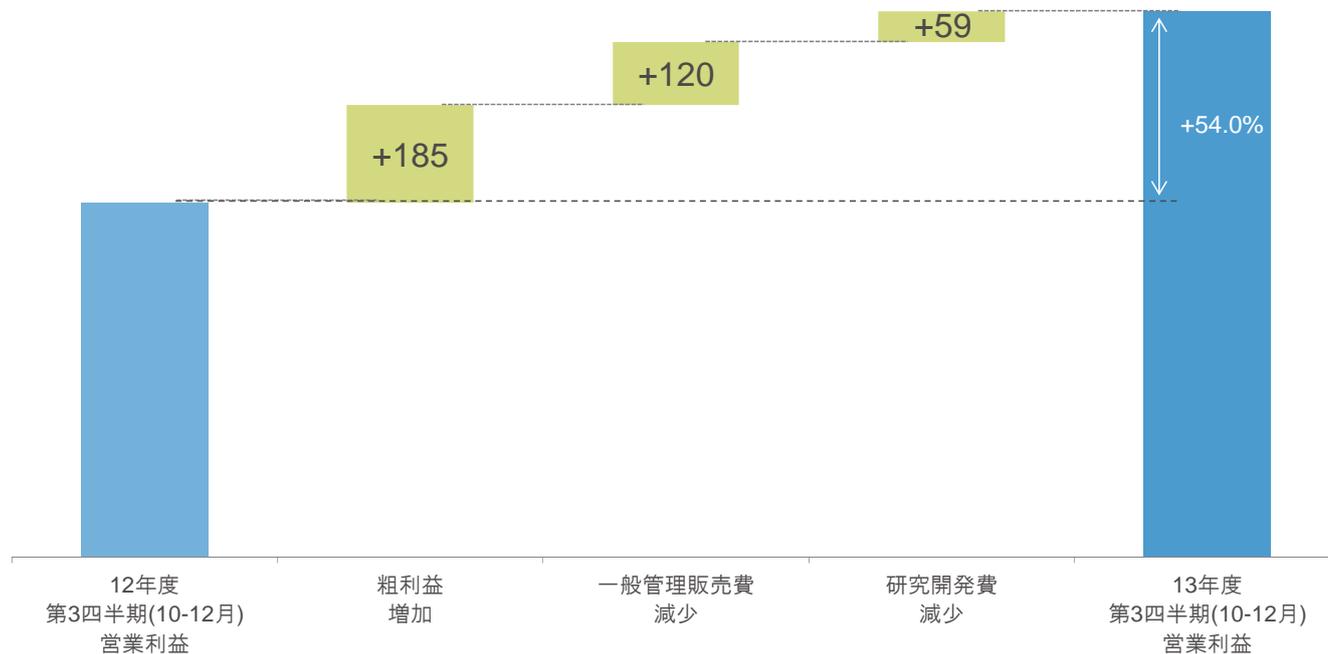
* Like-for-like: 詳細はP.40参照

プロダクトミックス、Project Summitを通じたコスト削減および
研究開発費の発生タイミングの遅れにより営業利益は大きく改善



Like-for-like*

(億円)



* Like-for-like: 詳細はP.40参照



- Project Summitによる経費削減は順調に進捗、13年度は300億円以上の削減見込
- 当社全体、および全世界での多岐にわたる取り組みにより、実効性を担保
- 購買活動(広告代理店、CRO、市場調査会社などとの契約)や管理機能の見直し、Commercial機能とR&D機能における統合などによる経費削減
- 13年度のimplementation costの見込は140億円
- Project Summitの13年度実績および14年度見込の詳細は2014年5月の本決算発表時に公表予定

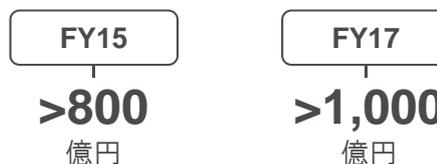
目標

経費削減
(年間)



12年度実績からの削減額

2013年10月31日公表の経費削減目標



Project Summit織り込み前の
会社計画からの削減額



貸借対照表およびキャッシュフロー



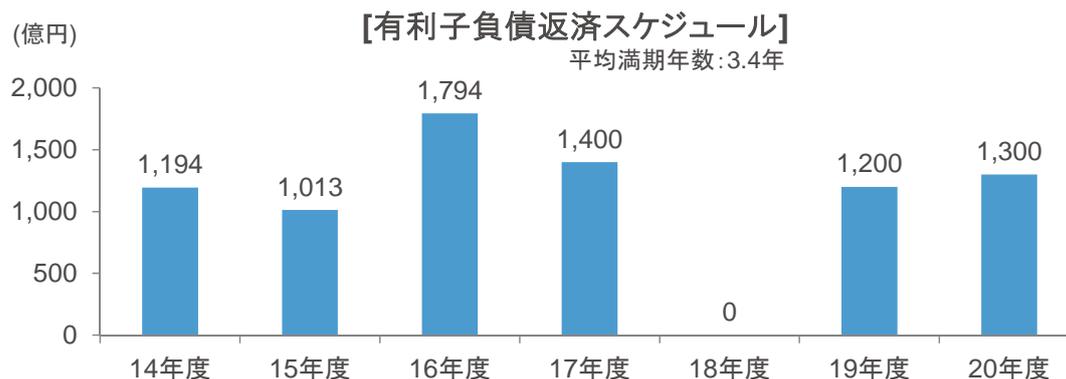
億円	13年3月末	13年12月末	増減
流動資産	14,551	17,843	+ 3,292
現金及び現金同等物*	5,477	7,326	+ 1,849
固定資産	25,005	26,415	+ 1,410
のれん除く無形固定資産	10,144	11,078	+ 934
のれん	6,754	7,487	+ 734
総資産	39,556	44,258	+ 4,702
流動負債	6,136	5,811	△325
固定負債	11,186	13,915	+ 2,728
借入債務	5,402	7,901	+ 2,499
総負債	17,322	19,725	+ 2,403
純資産	22,234	24,532	+ 2,299
自己資本比率	54.6%	53.8%	△0.8 pts

* 現金及び現金同等物：期末日から1年以内に償還期限が到来する短期投資を含む

低い純有利子負債



億円	12年12月末	13年12月末
総有利子負債	5,419	7,916
現金及び現金同等物*	4,221	7,326
純有利子負債	1,198	590
純有利子負債 / EBITDA比率**	0.3	0.1
純有利子負債 / 自己資本比率	5.8%	2.5%



* 現金及び現金同等物：期末日から1年以内に償還期限が到来する短期投資を含む

** 純有利子負債 / EBITDA比率：EBITDAは4-12月累計実績を年換算して計算



億円	第3四半期累計 (4-12月)	
	12年度	13年度
EBITDA	3,037	3,318
運転資本増減	△ 368	△ 738
有形及び無形固定資産の取得支出	△ 640	△ 490
法人税等の支払額 *	△ 851	△ 836
営業 フリーキャッシュフロー	1,179	1,254

- 2014年において運転資本の改善を見込んでいる

* 法人税等の支払額は、プレバッド移転価格税制に係る還付税金、および移転価格税の事前確認(APA)の合意による日米間の税金の還付/納付の影響を含めておりません。(12年度:1,239億円、13年度△747億円)



2013年度 通期見通し



- 第4四半期の売上高は、日本での減収、米国での増収により、第3四半期累計実績並みの対前年伸長率を見込む
- 第4四半期は、新製品の市場浸透と強固なパイプライン構築に向けた販売費用と研究開発費が増加

億円	12年度	13年度		対前回見通し	対前年	
	実績	前回見通し (10月)	今回見通し			
売上高	15,573	16,800	16,900	+ 100	+ 1,327	
研究開発費	3,243	3,400	3,400	-	+ 157	
営業利益	1,225	1,400	1,500	+ 100	+ 275	
経常利益	1,132	1,250	1,350	+ 100	+ 218	
純利益	1,312	950	1,000	+ 50	△312	
EBITDA(特別損益除き)	3,239	3,550	3,600	+ 50	+ 361	
EPS	166円	120円	127円	+ 6円	△ 40円	
為替レート	USD	82円	99円	100円	+ 1円	+ 18円
	EUR	106円	129円	133円	+ 4円	+ 27円

見通しは、現状の為替レートと株価5,000円、および導入等Business Development案件がないことを前提に作成。
(為替、株価の変動によりLong-term incentive program (LTIP)の費用が増減する可能性あり)

IFRS連結実績および通期見通し - 概算値



- Core Earning(CE)比率：
アクトス特許切れおよび為替影響による大きな減益(△7.1pts)を、13年度におけるコスト削減および新製品の貢献等(+6.7pts)で吸収し、CE比率は前年並みを維持

億円	IFRS概算値		
	12年度通期	13年度第3四半期 累計	13年度通期
	実績	実績	今回見通し
売上高	15,570	12,869	16,900
営業利益	650	1,782	1,600
<売上高比率>	4.2%	13.8%	9.5%
Core Earnings *	2,855	2,916	3,050
<売上高比率>	18.3%	22.7%	18.0%

* Core Earnings: IFRSのGAAPベースの営業利益から、企業買収に係る会計処理の影響や無形資産の償却および減損などの一時的要因を排除した定常的なビジネススペースの利益。

(注) 12年度通期および13年度第3四半期累計のIFRS実績(概算値)は見込値であり監査を経ていないため、2014年5月に会計監査人による監査を経て確定する最終的な実績値とは異なることがあります。



APPENDIX



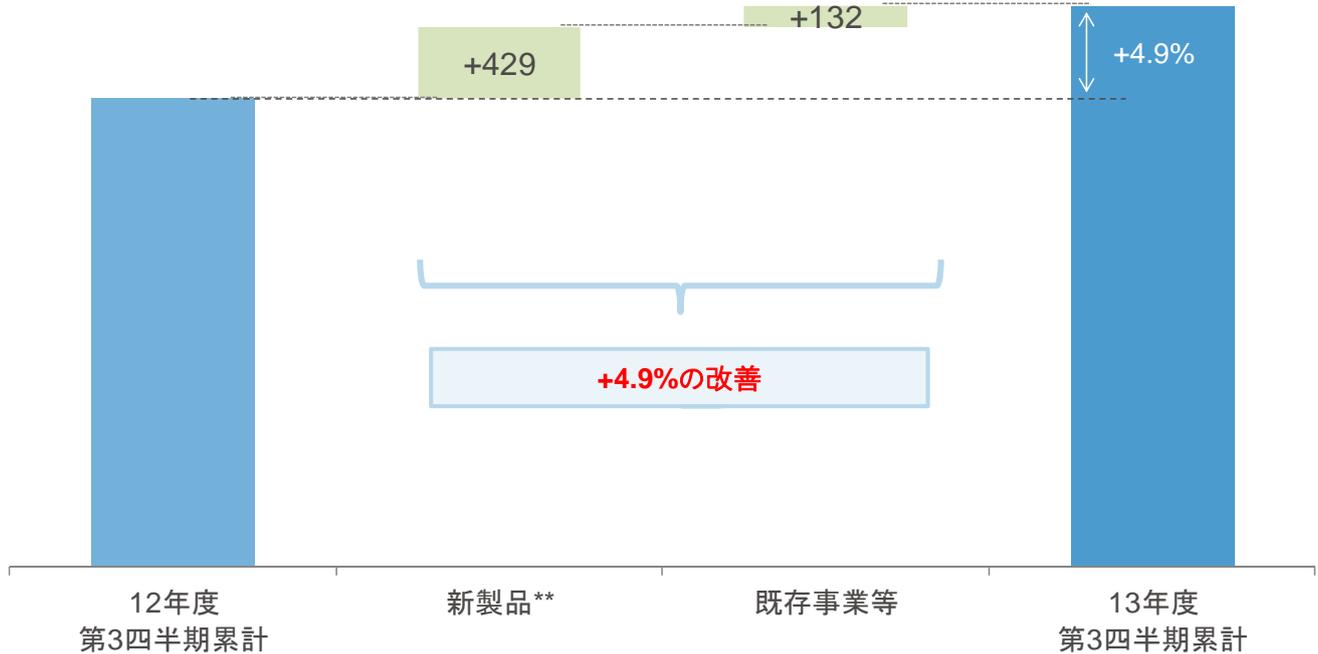
業績の概要 [2013年度 第3四半期累計(4-12月)]

売上高 [2013年度 第3四半期累計]



Like-for-like*

(億円)



* Like-for-like: 詳細はP.41参照

** 新製品とは、発売後5年以内の製品、すなわち09年以降に発売した製品(既存品との合剤・剤型変更を除き、買収した会社の製品を含む)を指します。

売上高 [2013年度 第3四半期累計] :TOP10品目



億円	第3四半期累計期間 (4-12月)			LFL*
	12年度	13年度	増減	
カンデサルタン	1,329	1,229	△ 7.5%	△ 3.7%
リュープロレリン	877	959	+ 9.4%	+ 2.6%
ランソプラゾール	856	901	+ 5.2%	△ 2.8%
パントプラゾール	565	772	+ 36.7%	+ 12.9%
ベルケイド	539	714	+ 32.5%	+ 7.1%
コルクリス	229	381	+ 66.7%	+ 2.1%
デクスラント	235	362	+ 54.2%	+ 24.3%
エンブレル	333	344	+ 3.1%	+ 3.1%
ネシーナ	258	310	+ 20.4%	+ 19.9%
アクトス	1,092	295	△ 73.0%	△ 16.1%
その他	5,579	6,601	+ 18.3%	+ 6.6%
売上高合計	11,891	12,869	+ 8.2%	+ 4.9%

* LFL (Like-for-like): 詳細はP.41参照

売上高 [2013年度 第3四半期累計] :地域別

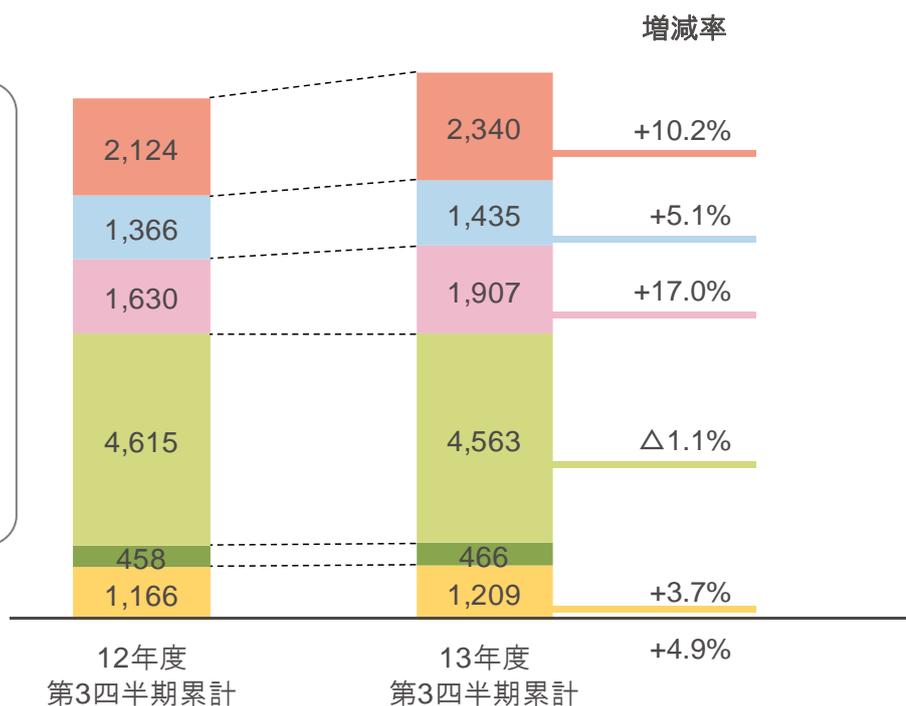


Like-for-like*

(億円)



ヘルスケア等



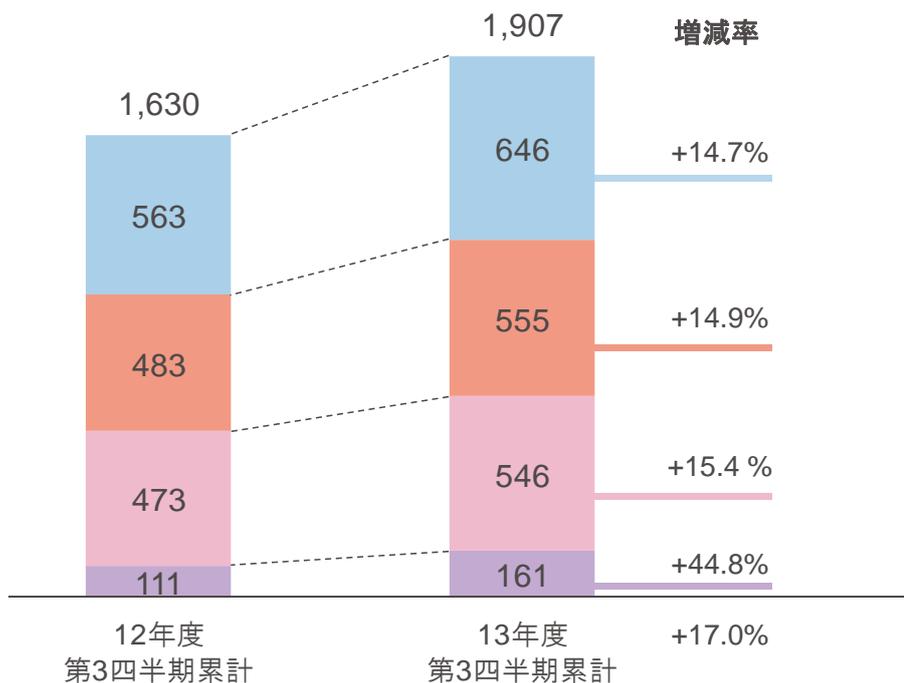
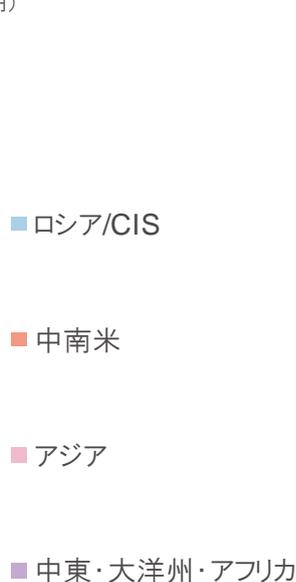
* Like-for-like: 詳細はP.41参照

売上高 [2013年度 第3四半期累計] :新興国地域別



Like-for-like*

(億円)



* Like-for-like: 詳細はP.41参照

損益計算書 [2013年度 第3四半期累計] 1/2



億円	日本基準			LFL*
	第3四半期累計(4-12月)		増減	
	12年度	13年度		
売上高	11,891	12,869	+ 8.2%	+ 4.9%
売上総利益	8,526	9,276	+ 8.8%	+ 6.9%
売上高比率	71.7%	72.1%	+0.4 pts	+1.3 pts
一般管理販売費	4,703	5,200	+ 10.6%	Δ 5.3%
売上高比率	39.6%	40.4%	+0.9 pts	Δ3.5 pts
研究開発費	2,316	2,382	+ 2.9%	Δ 10.3%
売上高比率	19.5%	18.5%	Δ1.0 pts	Δ3.1 pts
営業利益	1,507	1,694	+ 12.4%	+ 69.2%
売上高比率	12.7%	13.2%	+0.5 pts	+7.9 pts

* LFL (Like-for-like): 詳細はP.41参照

損益計算書 [2013年度 第3四半期累計] 2/2



億円	日本基準			LFL*
	第3四半期累計(4-12月)		増減	
	12年度	13年度		
営業利益	1,507	1,694	+ 12.4%	+ 69.2%
売上高比率	12.7%	13.2%	+0.5 pts	+7.9 pts
経常利益	1,513	1,569	+ 3.7%	+ 61.4%
特別損益	147	233	+ 59.1%	-
純利益	1,389	1,110	Δ 20.1%	+ 54.2%
EBITDA(特別損益除き)	3,037	3,318	+ 9.3%	+ 46.9%
売上高比率	25.5%	25.8%	+0.2 pts	+7.1 pts
EPS	176円	141円	Δ 35円	+ 76円
為替レート	USD	80円	99円	+ 19円
	EUR	102円	131円	+ 29円

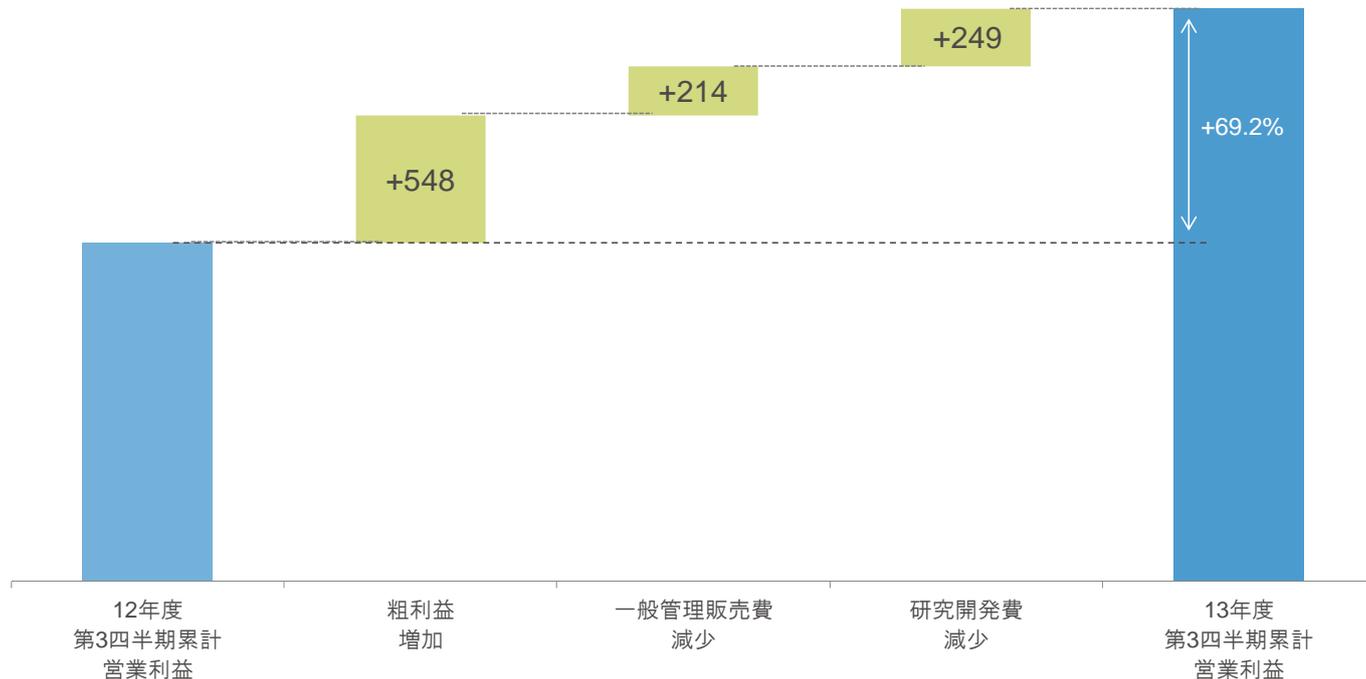
* LFL (Like-for-like): 詳細はP.41参照

営業利益 [2013年度 第3四半期累計]



Like-for-like*

(億円)

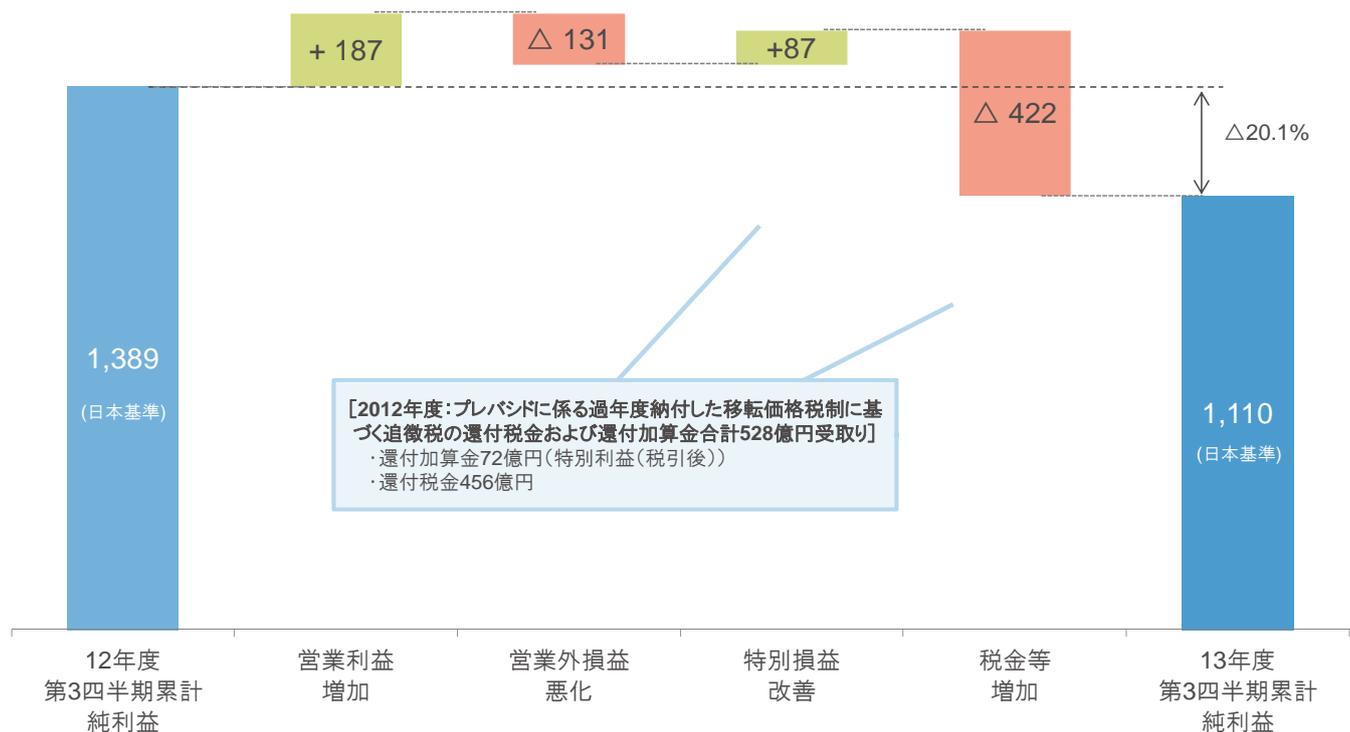


* Like-for-like: 詳細はP.41参照

純利益 [2013年度 第3四半期累計]



(億円)



EBITDAの内訳 [2013年度 第3四半期累計]



億円	第3四半期累計	
	12年度	13年度
経常利益	1,513	1,569
+ 無形固定資産償却費(企業買収に起因するもの)	759	815
+ のれん償却費(企業買収に起因するもの)	246	321
+ その他償却費(上記以外)	455	503
+ 支払利息	23	32
+ その他	41	79
EBITDA(特別損益除き)	3,037	3,318

医療用医薬品主要製品の売上高 [2013年度 第3四半期累計]



億円	11年度実績	12年度実績	第3四半期累計			
			12年度	13年度	増減	LFL*
カンデサルタン	2,163	1,696	1,329	1,229	△ 7.5%	△ 3.7%
リュープロレリン	1,207	1,165	877	959	+ 9.4%	+ 2.6%
ランソプラゾール	1,221	1,102	856	901	+ 5.2%	△ 2.8%
ベルケイド	581	729	539	714	+ 32.5%	+ 7.1%
コルクリス **	368	407	298	381	+ 28.0%	+ 2.1%
デクスラント	242	327	235	362	+ 54.2%	+ 24.3%
エンブレル	414	432	333	344	+ 3.1%	+ 3.1%
ネシーナ	155	378	258	310	+ 20.4%	+ 19.9%
アクトス	2,962	1,229	1,092	295	△ 73.0%	△ 16.1%
ユーロリック	129	177	128	194	+ 52.1%	+ 22.9%
アミティーザ	187	223	165	185	+ 12.2%	△ 9.3%
アジルバ	-	34	21	159	+ 638.8%	+ 638.8%
ベクティビックス	172	188	147	148	+ 0.8%	+ 0.8%
アドセリス	6	45	28	95	+ 243.7%	+ 177.8%
パントプラゾール ***	826	780	565	772	+ 36.7%	+ 12.9%
アクトベジン ***	186	196	142	206	+ 44.8%	+ 18.7%
カルシウム ***	157	154	110	138	+ 25.4%	△ 0.4%
タコシール ***	138	132	101	127	+ 26.2%	+ 5.9%
ダクサス ***	24	30	22	29	+ 35.4%	+ 7.3%
参考: ナイコメッド社製品 計(概算) *** (百万ユーロ)	2,984	3,126	2,333	2,430	+ 4.2%	
為替レート						
	USD	79円	82円	80円	99円	+ 19円
	EUR	109円	106円	102円	131円	+ 29円

* LFL (Like-for-like): 詳細はP.41参照

** 12年6月に買収したURLファーマ社の製品であり、12年5月までは、URLファーマ社買収前のコルクリス売上高を表示しています(4-3月ベースに組み替え後)。

*** 11年9月末に買収したナイコメッド社の製品であり、11年9月までは、ナイコメッド社買収前の当該品目売上高を表示しています。



IFRS

IFRS連結実績および通期見通し - 概算値 (詳細)



億円	13年度 第3四半期累計 実績			13年度 見通し(今回公表)		
	日本基準	IFRS 概算値	差額	日本基準	IFRS 概算値	差額
売上高	12,869	12,869	—	16,900	16,900	—
研究開発費	2,382	2,389	+ 7	3,400	3,450	+ 50
<売上高比率>	18.5%	18.6%	+0.1pts	20.1%	20.4%	+0.3pts
営業利益	1,694	1,782	+ 88	1,500	1,600	+ 100
<売上高比率>	13.2%	13.8%	+0.6pts	8.9%	9.5%	+0.6pts
純利益	1,110	1,336	+ 226	1,000	1,300	+ 300
<売上高比率>	8.6%	10.4%	+1.8pts	5.9%	7.7%	+1.8pts
EBITDA **	3,318	3,485	+ 167	3,600	3,800	+ 200
Core Earnings *	—	2,916	—	—	3,050	—
<売上高比率>		22.7%			18.0%	

* Core Earnings: IFRSのGAAPベースの営業利益から、企業買収に係る会計処理の影響や無形資産の償却および減損などの一時的要因を排除した定常的なビジネスベースの利益。

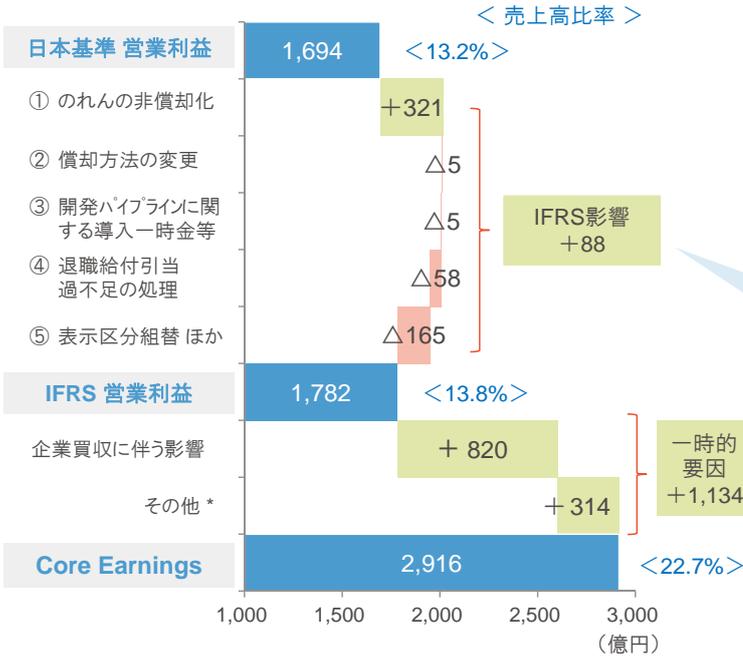
** 日本基準のEBITDAは特別損益を除いて算定しています。

(注) 13年度 第3四半期累計IFRS実績(概算値)は見込値であり監査を経していないため、2014年5月に会計監査人による監査を経て確定する最終的な実績値とは異なることがあります。



IFRSベースの13年度第3四半期累計期間 営業利益、およびCore Earningsへの調整

当社の損益に影響を及ぼす主要な差異



項目	日本基準	IFRS
①のれんの償却	➢ 20年以内で償却	➢ 償却せず、毎期減損テストを実施
②有形固定資産の償却方法	➢ 海外子会社を除き主に定率法 ➢ 特定目的の研究開発用設備は取得時に一括費用処理	➢ 定額法に統一 ➢ 特定目的の研究開発用設備は資産計上し、定額償却
③開発パイプラインに関する導入一時金、マイルストーン等の処理	➢ 取引発生時に研究開発費処理	➢ 無形資産に計上し、承認取得後、上市した時点から定額償却 ➢ 開発中止の場合、将来CFが悪化した場合等に減損テストを実施
④退職給付引当過不足の処理	➢ 発生時から5年間で償却（13年度は益償却）	➢ 損益認識せず、発生時に全額その他包括利益として認識
⑤営業外損益、特別損益の表示区分組替	➢ 本業以外の損益は営業外損益として、一時的・突発的な損益は特別損益として認識	➢ 営業外は金融損益に限定 <例>支払/受取利息、有価証券売却益、受取配当 等 ➢ 金融損益を除く営業外損益、特別損益の多くが営業損益に組替わる（営業利益より上の損益として認識される）

* その他の主な内容…ライセンスにかかる無形資産の償却等

(注) IFRS実績(概算値)は、暫定的に作成しているものであり、2014年5月に会計監査人による監査を経て確定する最終的な実績値とは異なることがあります。

補足情報



LFLの詳細 [2013年度 第3四半期 (10-12月)] 1/2



- Like-for-like (LFL): 為替影響および除外項目を控除して算定
- 除外項目: 経常的なビジネスパフォーマンスを見る観点から除外した項目 (M&A関連費用、事業の売却損益、特許満了影響、営業日数の差異等)。詳細は以下の通り。

億円	第3四半期 (10-12月)					
	12年度			13年度		
	M&A関連	一時的な取引 および 特許満了影響等	合計	M&A関連	一時的な取引 および 特許満了影響等	合計
売上高	-	215	215	-	102	102
米国アクトス	-	102	102	-	14	14
欧州カンデサルタン	-	70	70	-	49	49
売上総利益	△ 21	195	174	-	103	103
一般管理販売費	383	△ 9	374	345	16	361
無形資産償却費	286	-	286	247	-	247
のれん償却費	97	-	97	97	-	97
研究開発費	1	52	53	2	55	57
導入費	-	52	52	-	9	9
営業利益	△ 405	152	△ 253	△ 346	31	△ 315
営業外損益	△ 21	-	△ 21	△ 26	-	△ 26
経常利益	△ 426	152	△ 274	△ 372	31	△ 341
特別損益	-	△ 26	△ 26	-	118	118
税金等調整前当期純利益	△ 426	126	△ 300	△ 372	149	△ 223
法人税等	△ 93	49	△ 44	△ 78	39	△ 38
純利益	△ 333	77	△ 256	△ 295	110	△ 185

LFLの詳細 [2013年度 第3四半期累計] 2/2



- Like-for-like (LFL): 為替影響および除外項目を控除して算定
- 除外項目: 経常的なビジネスパフォーマンスを見る観点から除外した項目 (M&A関連費用、事業の売却損益、特許満了影響等)。詳細は以下の通り。

億円	第3四半期累計					
	12年度			13年度		
	M&A関連	一時的な取引 および 特許満了影響	合計	M&A関連	一時的な取引 および 特許満了影響	合計
売上高	-	1,402	1,402	-	483	483
ドイツOTC事業売却	-	-	-	-	48	48
米国アクトス	-	948	948	-	57	57
欧州カンデサルタン	-	326	326	-	198	198
売上総利益	△ 46	1,319	1,273	△ 7	445	438
一般管理販売費	1,156	14	1,170	1,033	50	1,084
無形資産償却費	871	-	871	741	-	741
のれん償却費	284	-	284	294	-	294
研究開発費	3	80	83	5	83	87
導入費	-	80	80	-	36	36
営業利益	△ 1,204	1,224	20	△ 1,045	312	△ 732
営業外損益	△ 46	-	△ 46	△ 73	-	△ 73
経常利益	△ 1,251	1,224	△ 27	△ 1,118	312	△ 806
特別損益	-	147	147	-	233	233
税金等調整前当期純利益	△ 1,251	1,371	120	△ 1,118	545	△ 572
法人税等	△ 271	73	△ 199	△ 240	199	△ 41
純利益	△ 979	1,298	319	△ 878	347	△ 531



億円	12年度	13年度		対前回見通し	対前年	
	実績	前回見通し (10月)	今回見通し			
売上高	15,573	16,800	16,900	+ 100	+ 1,327	
研究開発費	3,243	3,400	3,400	-	+ 157	
営業利益	1,225	1,400	1,500	+ 100	+ 275	
特殊要因*除き	2,675	2,950	3,050	+ 100	+ 375	
経常利益	1,132	1,250	1,350	+ 100	+ 218	
純利益	1,312	950	1,000	+ 50	△312	
特別損益、特殊要因*除き	1,846	1,950	2,050	+ 100	+ 204	
EBITDA(特別損益除き)	3,239	3,550	3,600	+ 50	+ 361	
EPS	166円	120円	127円	+ 6円	△ 40円	
特別損益、特殊要因*除き	234円	247円	260円	+ 13円	+ 26円	
為替レート	USD	82円	99円	100円	+ 1円	+ 18円
	EUR	106円	129円	133円	+ 4円	+ 27円

* 特殊要因

: M&Aに関連する下記の費用

i) 営業利益: 棚卸資産のステップアップ(時価評価による増加部分)の費用化、無形固定資産償却費、のれん償却費等

ii) 純利益およびEPS: i)に加え、営業外費用

2013年度 連結業績の見通し - 為替レート1円変動影響



億円	13年度	
	USD	EUR
売上高	38	41
営業利益	△7	3
純利益	△5	2

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制当局からの承認取得、国内外の医療保険制度改革、医療費抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の需要が得られない場合などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。



武田薬品工業株式会社